

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



令和3年11月18日
陸上幕僚監部

令和3年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-81）
の概要について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化すべく、以下のとおり令和3年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-81）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、同活動に係る能力の維持及び向上を図る。

2 期間

令和3年12月1日（水）～13日（月）

3 場所

伊丹駐屯地、朝霞駐屯地、座間駐屯地、相浦駐屯地等

4 演習実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 統裁官	陸上幕僚長	陸 将	よしだ 吉田	よしひで 圭秀
イ 演習部隊長	中部方面総監	陸 将	のざわ 野澤	しん 真
ウ 実施部隊	陸上幕僚監部、陸上総隊、中部方面隊、教育訓練研究本部、 統合幕僚監部、海上自衛隊、航空自衛隊等			

(2) 米 軍

ア 統裁官	太平洋陸軍司令官	陸軍大将	チャールズ・A・フリン
イ 演習部隊長	第25歩兵師団長	陸軍少将	ジョセフ・A・ライアン
ウ 実施部隊	太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、第1軍団、第25歩兵師団 第3海兵機動展開旅団等		

5 特色

- (1) 我が国を取り巻く安全保障環境に適応し得るよう、40年にわたり演習内容を進化させつつ発展を遂げてきた陸自最大規模の日米共同演習
- (2) 従来の領域に宇宙、サイバー及び電磁波といった新領域を加えた自衛隊の領域横断作戦と米陸軍のマルチ・ドメイン・オペレーションを踏まえた日米の連携向上のための練成訓練
- (3) これまでの日米共同方面隊指揮所演習（YS：ヤマサクラ）及び本年6～7月に実施したオリエントシールド21における指揮機関訓練と実動訓練の接続に係る教訓を踏まえ着実に成果を累積

6 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本演習に参加する自衛隊員については、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加
- (2) 米軍は、在日米軍の定める基準等に基づき、自衛隊と同様に必要な感染症対策を徹底
- (3) 国外から訓練に参加する米軍関係者は、2回のワクチン接種を完了するとともに、演習参加前にPCR検査を受検し、陰性の者のみが参加